

KUMAGAYA SOUTH Rotary Club of Saitama RI Dist. 2570



2011. 6. 15

No. 41

President : Naoki Takada
Secretary : Tomoko Uetake
Hotel Garden Palace
Sayada3248-1 Kumagaya shi



Ray Klingensmith
RI President, 2010-11
Bujuro Nishikawa Gouverneur
RI Dist 2570

第640回例会 会報

クラブ協議会・一年を顧みて

昨年、棚澤直前会長よりタスキを渡され、植竹知子幹事と夫婦同様“付かず離れず” 出航した「高田丸」も、もう寄港地までわずかになりました。今年には澤田ガバナー補佐を中心にした IM ホストクラブとしてその準備に終われ、無事済んだと安堵した瞬間の東北大震災・福島原発事故で、終始気の休まる時間もない一年でした。そんな一年間を振り返って、理事役員の皆様にひとことご感想を述べていただきました。



この一年を語る高田直樹会長



植竹 知子 幹事

会 長 挨拶



会長 高田 直樹

先日の長瀬への移動例会では多くの皆様にご参加をいただきまして大変ありがとうございました。天候にも恵まれて、宝登山神社への参拝、荒川で波しぶきを上げてのライン下り、そして緑あふれる自然の中でのバーベキューで、今までにはない楽しく、有意義な例会が出来ました事を、皆様に深く感謝を申し上げます。

この移動例会の関係で、2週間振りの通常例会となりますが、この間、今年度最後となります会長幹事会を先週伊香保で行いましたが、今年度は澤田ガバナー補佐のもと大変まとまりのある会長幹事会として、大変有意義な会合を重ねる事が出来ました。

本日のプログラム 6月22日(水) 引継例会

また週末には第2570地区の地区会合が行われ、各委員会報告、地区会合決議案の審議、そして表彰ならびに感謝状の贈呈が行われました。

当クラブは前年度会員増強協力クラブ部門第2位で盾をいただいて参りました。また澤田ガバナー補佐が本年度での感謝状、山口会員増強委員長が前年度、本年度として二つの感謝状をいただいておりますので、ここで報告と共にお祝いを申し上げます。

そして昨日は今年度 IM 等でお世話になりました第5グループ事務局会議が行われまして、全てのクラブの事務局の皆様に参加をいただきまして開催することが出来ました。

この様に、今年度も残り少なくなりますと、締めくくりとして様々な会合や行事がありますが、その一つひとつに参加しながら全ての責務の遂行が終わ

ろうとしております。

その最後の引継例会が来週に迫っておりますので、ぜひ大勢の皆様のご参加をいただきまして最後を飾るにふさわしい例会が出来ます様に皆様のご協力をお願い申し上げます。

幹 事 報 告



幹事 植竹 知子

1. 地区より
 - *「R財団部門 委員会報告」
 - *ガバナー月信第 12 号
2. 財) ロータリー米山記念奨学会より
 - *ハイライトよねやま 1 3 5
3. 熊谷市コミュニティづくり市民協議会より
 - *平成 23 年度熊谷市・深谷市・寄居町コミュニティ協議会合同研修会の開催について (御案内)
 - *コミュニティ活動実行賞等の推薦について (依頼)
4. 熊谷市青少年非行防止大会運営委員長より
 - *平成 23 年度第 30 回熊谷市青少年非行防止大会の説明会開催について
 - *平成 23 年度第 30 回熊谷市青少年非行防止大会の協賛について
5. 熊谷市暴力排除推進協議会より
 - *平成 23 年度負担金の納入について
6. 熊谷市国際交流協会より
 - *平成 23 年度熊谷市国際交流協会総会資料の送付について
7. 熊環連より
 - *総会資料の送付と会費納入のお願い
 - *一日エコ家計簿作成のお願い
8. 財) 埼玉県腎・アイバンク協会より
 - *総会資料送付について

以上が届いております。

クラブ協議会 (一年を顧みて)

会長 高田直樹

現在社会は豊かさや利便性を求めて発展を遂げてきた経済社会の中での環境問題、そして今また続く

世界的な経済不況など、人類の将来を決する大きな課題を抱えながら、選択すべき道を模索している状態であります。

この様な時代背景の中で、ロータリーの職業奉仕の理念が大変重要とされる今日、それらの事業活動を引き継いでいくと共に、更に促進を図り、この地域において「私たちが今出来る事」から始め、社会奉仕、国際奉仕へとクラブ奉仕活動に取り組んで参ります。

という事で今年度のスタートを切ったわけですが、百年に一度といわれる経済不況が残る中、今度は千年に一度と言われる大震災に遭遇して、その大惨事の結果、「利便性を求めたゆえにおきた原発事故、そして放射能汚染による環境問題など、年度始めに懸念されていた事に輪をかけて今や大きな問題となっております。

その様な中で、クラブ管理運営、会員組織では会員の皆様がいかにして全員参加のクラブ運営が出来る様に、そして各委員会の活動により、1 人でも多い増強、1 人でも多い出席等目指して参りました。その結果、出席率が大変向上し、全員参加のクラブ運営に近づいて参りましたが、年度末になりまして、退会者が 2 名という大変残念な結果になってしまいました。

奉仕プロジェクトにつきましては、継続事業や親睦旅行を取りやめての義援金活動など大きな成果をあげる事が出来たと思います。

財団・米山につきましても、普通寄付金の他、各 1 名の特別寄付をする事が出来ました。そして今年度は、米山奨学生の世話クラブとして金善花さんを受け持ち、積極的な交流から国際交流、相互理解を大いに深める事ができたと思います。

また、今年度は澤田ガバナー補佐選出クラブとして、全会員参加による運営で IM を成功させる事が出来たホストクラブとして更なる節目の次年度、15 周年に繋ぐにふさわしい土台をつくる事が出来たのではないかと考えますので、次年度も引き続き会員の皆様のご協力をお願い申し上げます。

一年間ありがとうございました。

幹事 植竹知子

移籍会員という扱いの為、入会 3 年弱で幹事という役を預かり、始まる前から重い気持ちでした。高田会長は、優しいから負担がないから何でも解かっているから大丈夫だよ！という言葉に・・・そうかもしれない・・・と、預かったものの、単なる普通のメンバーと同じとはいきません。しかし過ぎてみると、どんな会でも、陰で支える人がいて成り立っている訳で、今まで例会に、気ままに参加し、

文句ばかり言っていた自分、組織(特に男ばかりで、皆会社の役員(の団体)の中で様々な方がいて、(特に私の場合、各人の人柄等がまだ理解できない状況だった)、皆が気持ちよく会を運営する為の配慮の勉強になったと感じる自分がおります。

また、会長の補佐役として、自分を出さず、会長が困った時のみ手助け出来ればいいのかと考えておりましたので、要請があれば意見や案を出し、言った以上は一生懸命やろうという方針でやったつもりです。顧みると、男の料理教室や短歌朗読会は、初の試みで、出席率向上に多少は寄与できたかと自負しております。

本年は、3・11東北大地震があり、IMの実施がその前で我が南RCは恵まれていたし、高田会長もIMの成功をまず以って揚げておりましたので、よかったと胸をなでおろしております。

もっと、会の事を理解できていれば、もっと役柄として、発展的なことが出来たのではないかと食いはありますが、役をやりつつ会を理解したといっているかもしれません。よって、申し訳なかった気持ちは今さらわいてくる今日この頃です。

SAA 井上哲孝



この1年を振り返りまして、年度当初より「例会の新しい運営・・・」を考えてまいりました。高田会長の意向に沿う型にての例会を「なるべく楽しく・・・」出来ればと考えながらの運営であったと思います。前半の例会、またIMなどはともかく、後半(特に3月以降・・・)は、残念ながら東日本大震災の影響で、自粛ムードの中、少々萎縮した型での例会運営になってしまったことは否めません。仕事の都合上、すべての例会に出席出来なかった点、また例会における準備不足があった事も今思い返すだけでも、かなりの反省すべき点があったと思います。次年度島崎年度では、今年度に引き続きSAAを仰せつかりましたので、今年度の反省点を糧に、より一層頑張りたいと思います。・・・高田会長・植竹幹事ごめんなさい。1年間本当にお世話になりました。

会員増強委員会 委員長 岡部俊之

(代読 副委員長・棚澤正行)

何が何でも純増3人以上、30人の会員確保をと極めつけの約束を掲げてスタートした会員増強委員会であります。棚澤副委員長さんの協力のもと、塚越さんをスポンサーさせていただき、本当に良かったと思います。

現在も2人ほど、新入会員への話を進めています。高田会長も来月から時間を持って余し気味になるという事で、本年度予約した分、必ず来年度1人紹介してくれるものと信じます。

本年度も終わってみれば27人、新入会員確保よりも退会防止であったなあ。反省点も含めて来年度こそ何が何でも30人。棚澤さん頑張ってください。遠き知床の地より奮闘を祈ります。

親睦ニコニコ委員会 委員長 渡邊藤男



高田年度の親睦行事と致しまして8月にホテルガーデンパレスで納涼会を行いました。

室内での納涼会は初めての試みではなかったでしょうか。

高田年度が始まり、まだ日も浅く会長、幹事との意思疎通が図れず、会長、幹事には大変ご迷惑をおかけしたと思いますが、終わってみればとても有意義な納涼会でありました。年末のクリスマス例会では、タヒチアンダンス(OHANA)による、ショーを行いました。3月に予定していた親睦旅行は、東日本大震災による影響により中止となりました。が、先日行われました長瀬への移動例会で親睦旅行の名目が保てたと思います。

今年度の最後のイベントと致しましては、6月の22日(水)に行われます、引継ぎ例会で今年度の親睦の予定をすべて終了致します。皆様、何卒ご参加くださいますよう、よろしく願い申し上げます。

続きまして、ニコニコBOXについて今年度の報告をさせていただきますと思います。

前年度6月末で57万円皆様よりニコニコBOXの御投函がありました。今年度は前回例会までに45万円のニコニコBOXの御投函となっております。今年度残すところ、あと1回の例会となりますが、前年度を下回らないよう、皆様ご協力をお願い申し上げます。以前にニコニコBOXの意味を申し上げましたが、ニコニコBOXは会員による自発的な寄付行為です。このお金は、当クラブでは社会奉仕基金に当てられ、年度初めの運転資金として当てられます。年度はじめの仮払い金よりもニコニコBOXの金額が下回りますと、本会計より充当される形になりますので、だんだんクラブ運営が大変になってきますので、皆様、何卒ニコニコBOXの御投函をよろしくお願いいたします。

プログラム委員会 委員長 山口茂



今年度高田会長方針であります会員各位が出席しやすい例会と、移動例会を多くして、外部を見て感じ、自分のプラスになる様な例会実施を心がけ、プログラムを組ませて頂きましたが、皆さん如何だったでしょうか？

又、3年未満の会員が大いに活躍出来る場を高田会長は提供させて頂きました。皆様の御協力ありがとうございました。

会報・広報委員会 委員長 佐川順一

クラブ会報委員会の使命として、例会会報の「次週発行の原則」はなんとか死守できそうです。会員にやさしく読んでいただけますように、文章を簡潔にして、写真やイラストを多く取り入れるようにしました。また、植竹幹事の発案「ことばのふれあいコーナー」は大変良い企画で、特に高田会長による「誕生日を迎えた会員に向けた心の一句」シリーズは紙面をおおいに賑わす効果がありました。どうぞ

今後も続けていかれることを切に願います。石井副委員長にも編集・発行等、お手伝いいただきまして大変助かりました。ここで御礼申し上げます。

今年は山口茂地区ロータリー会員増強委員長の指導により、地区の会報・広報委員会に配属され、副委員長として一年間地区の方で活動を行ないました。場所が遠く知らないロータリアンばかりで最初はかなり疲れましたが、自分のクラブ内からだけではなく、より広く外からロータリーを見つめなおすことが出来、いい経験だったと思います。

職業奉仕・社会奉仕委員会 委員長 加藤博



皆様こんばんは。今年度の活動を振り返ってみますと、9月15日に、男の料理教室と題して、銀座の東京ガスで、普段台所に入ったこともない忙しい方が1時間以上も料理をして、みんなに振舞った。とても楽しかったし、将来女房に逃げられて一人になった時の事を考えると勉強になりました。植竹さんには手配ありがとうございました。

10月20日に移動例会でヘリテイジさんに行き、四季の湯に入り、楽しく会食をしたこと、大変楽しかったし勉強になりました。これも植竹幹事さんがヘリテイジの市議会議員でもあります杉田しげみ様、当クラブの、いところでもある中島さんの協力をお願いして出来ました。

3月16日は11日の震災のため式典は中止になりましたが、14本目の千年桜の植樹を行ないました。別府沼公園の近くに行きましたら、寄って触ってみてください。

自分としては、1年たいしたことが出来ませんが、お許しいただきたいと思います。ありがとうございました。

国際奉仕（新世代）委員会 委員長

姜沢利行



熊谷南ロータリークラブ高田会長のクラブ運営方針に従い下記のごとく国際奉仕活動を行った。

平成22年7月14日の高田年度のクラブ協議会で活動方針を発表した。

平成22年8月1日に西川ガバナー年度の国際奉仕部門セミナーに高田会長と一緒に参加して、垣見一雅（かきみかずまさ）先生（愛称OKバジ）よりネパールでの17年間の国際奉仕・支援活動の講演を約1時間拝聴し、奉仕について学ぶことができた。

平成22年10月6日ガバナー訪問時に委員会の活動内容を発表した。

ネパールへの教育支援のため、奨学支援募金1口8600円、学校建設募金は1口1000円を郵便局から送金する。

国際奉仕（新世代）委員会の岡本会員と懇親を深め、会務の遂行にあたり多くの支援を頂いた。

米山奨学委員会 委員長 島崎次弘



前年度に米山奨学委員長を務めまして、今年度も榎本さんの代わりに実質的に委員長とカウンセラーを担当しましたので、私は2年間米山を担当させて頂きました。この2年間で率直に思ったことは、米山奨学生の人たちと色々話もして、触れ合うことが出来て良かったなあ、ということです。

米山奨学制度は、大学の指定校から推薦を受けた

学生をさらに審査して30分の一位まで絞り込んで選ぶという大変狭き門です。主にアジアから日本で学びたいとやってきた若者を対象にしておりますが、中国と韓国の留学生が多いので、米山奨学生の国別もどうしても中国、韓国が多くなってしまっていますが、ミャンマー、インドネシア、モンゴル、タイ、バンラデッシュなど様々な国の人がいらっしゃいます。

最初は貧困救済型の援助でした。それが続けられれば理想的な援助だったのですが、貧困層の人たちにはもちろんまじめに勉強に励む人も多くいたとは思いますが、問題を起す人もいて、21世紀に入る前に、知的貢献型に援助の方法を変えました。これにより、本当に援助の必要があるのだろうかと思うような学生も選ばれているのではないかと疑問の声も上がるなど、新たな問題も出てきているようですが、私が接した奨学生たちは多くが、生活と学費のためにアルバイト付けで思うように勉強の時間が取れなかったのが、奨学金のおかげで時間の余裕が出来て、本当に感謝していると話しておりました。

ご存知のように、日本とアジアの国々はいまだに歴史の付けで、お互いの理解に微妙な行き違いがあるままになっています。彼らも日本に来た時は、日本に対して彼らの国の人と同じような偏見を持っていたと言いますが、実際に来て日本で生活して日本人と接して、ロータリアンと接して、教えられていたことが間違いだったとほとんどの人が分かってくれたようです。毎月14万円、年間に168万円という大金を頂くわけですから、お世辞も若干入っているかも知れませんが、かなり本音も入っていると私は思っております。

こちらがいくら友好を掲げても疑いの目で見られ、ニュースなどメディアが言葉を羅列しても相手の国の人々の頭には残りません。奨学生たちが故郷に帰って、日本で暮らし、学び、日本人と触れ合って経験した実体験を生々の声で語ってくれることが、真に説得力のある言葉としてお国の人たちにも響いてくれることと思います。これこそが何よりの国際親善になるでしょう。米山奨学制度はこれからも引き継いでいかなければならない大切な事業だと思います。

私も彼らと出会って交流していく中で、はっとするような指摘を頂いたこともあり、彼らと交流できたことは自分にとっても大変プラスになったと思います。

ロータリーはワンイヤールールで、皆さんもそのうちに米山奨学委員会と関わる機会があると思います。その時はぜひ積極的に奨学生の皆さんと交流して下さい。私と同じように必ずいい経験になると確信致します。

委員会報告

● 出席報告

例会日 6月12日

会員数	出席	欠席	MU	出席率
29	17	11	1	62%

ニコニコBOX



高田直樹会長・植竹知子幹事

先週の移動アウトドア長瀬例会はお世話になりました。楽しめましたか？残り今日と次週引継例会のみとなりました。最後まで気を抜かず、顔はにこやかになってしまう今日です。

島崎次弘会員

高田会長、12日の移動例会は大変お世話になりました。会員の皆さんと一緒に本当に楽しい一日でした。ところで、来年の6月の移動例会はまだスケジュールをあけてあります。来年もよろしくお願いします。

棚澤正行会員

高田会長、先日は大変ご馳走様でした。渡邊委員長、植竹幹事御苦労様でした。楽しかったです。電車も珈水亭も！

加藤博会員

先日は移動例会で、高田会長のお宅に行き、ご馳走になりました。奥様、息子さん御夫婦にはお世話になりました。又呼んでください。

菱沢利行会員

高田年度の最終例会の前夜例会となりました。充実した1年を送られたことと拝察致します。

渡邊藤男会員

親睦ニコニコ委員会です。皆様ニコニコの投函宜しく申し上げます。

熊谷南ロータリークラブ

会報・広報 (IT) 委員会 佐川順一・石井一則

TEL 048-522-6143 FAX 048-522-6153

E-mail: ksr@kumagaya-south-rc.com

<http://kumagaya-south-rc.com/>